①学習課題（中学校１年生）

**【国語】**

|  |
| --- |
| **＜内容＞**  **〇教科書の「花曇りの向こう」（P26～P32）を読んで、題名にこめられた意味など、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。（前週からの継続）** |
| **＜取り組み方＞**  ①　三つ目の場面と四つ目の場面を音読しよう。  ②　三つ目と四つ目の場面について、次のことに取り組んでみよう。  ・「僕」の心情がよく分かる表現を探し、その右横に線を引いてみよう。  ・印象に残った表現の右横に線を引いてみよう。  ・どのような場面か簡単にまとめてみよう。  　　　（例）「〇〇が、△△について、□□する場面」  ③　題名「花曇りの向こう」は、どのようなことを意味しているのか、自分の考えを簡単にまとめてみよう。  ④　三つ目、四つ目の場面について、どのような場面か、印象に残った表現はどれか、理由をえて家の人に説明してみよう。また、題名「花曇りの向こう」はどのようなことを意味していると考えるか、理由を添えて、家の人に説明してみよう。  ※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。 |

**【社会】**

|  |
| --- |
| **＜内容＞**  **「地球」と「世界地図」にはどのような点やなる点があるだろうか？**  **教科書などをもとに調べて、取組シートやノートにまとめてみよう。** |
| **＜取り組み方＞**  (1)「世界地図」には、いくつかのがあり、教科書P21には、３種類の地図が　せられています。３種類の地図それぞれのや使いみちを調べてまとめましょう。  (2)「地球儀」の特徴を調べて整理しよう。  (3)「地球儀」と「世界地図」をべて、それぞれに共通してかれているものを見つけよう。  (4)「地球儀」と「世界地図」を見比べて、異なる点を書きましょう。 |
| **＜学習のヒント＞**  ●教科書は、P18～P21を参考にしよう。また、「地球儀」や「地図帳」がにあれば、それらも活用しましょう。 |

**【数学】**

|  |
| --- |
| **＜内容＞**  **数直線を基にして、負の数が入った加法の計算の仕方について考えてみよう。**  **～マイナスの数をたすことはできるかな？～** |
| **＜取り組み方＞**  　①　数直線を使って(＋３)＋(＋４)や(－２)＋(－６)の計算の仕方を考えよう。  　②　数直線を使って(＋２)＋(－６)や(－２)＋(＋７)の計算の仕方を考えよう。  　③　①、②の計算前の式と計算した結果を比べてみて、気付いたことを家の人に説明しよう（「取組シート」やノートに説明を書いてもよい。）  　④　正の数、負の数の２数の和について、計算の仕方を符号と絶対値に注目して「取組シート」やノートにまとめてみよう。  　※考えたことを「取組シート」やノートにまとめてみよう。 |
| **＜学習のヒント＞**  　①　教科書P22の例１を参考に、符号（「」や「」）や絶対値がどんなことを表しているか考えてみましょう。数直線の向きについては、P17の11～12行目に書かれています。  　②　教科書P22の例２を参考に、①と同じように考えてみましょう。  　③　①と②のそれぞれについて、計算前の式と計算した結果の符号と絶対値に注目して、どのような計算をしているか考えてみましょう。例えば、計算前の式の符号について、①は同符号、②は異符号になっていますね。  　④　③で気付いたことを教科書P24の「重要」を参考に、まとめてみましょう。 |

**【理科】**

|  |
| --- |
| **＜内容＞**  **◆下記【グループ１】、【グループ２】ののを、それぞれするにはどうしたらよいか考えよう。**  【グループ１】　P122～123上部のコップの写真  [ガラス、プラスチック、ステンレス、、、、、]  【グループ２】　P123の図２  [、かたくり、] |
| **＜取り組み方＞**   1. グループごとに、区別する方法を考えつくだけ書き出してみましょう。 2. ①の方法をとると、どのような結果になるか予想してみましょう。 |
| **＜学習のヒント＞**   1. 区別する方法の中で、『理科の実験としてあまりしていない』と思われるものがあれば、チェックしておきましょう。 2. 結果の予想について、理由・があれば書いてみましょう。 3. 身のまわりで気になる商品などについて、がある場合、知らないものがあったら自分で調べてみましょう。 |

**【英語】**

|  |
| --- |
| **＜内容＞**  **教科書P8～P9「町の中の会話を聞こう」、P10～P11「身の回りにあるものの英語」の絵を見ながら音声を聞いて、次のことに挑戦してみましょう。** |
| **＜取り組み方＞**  音声を聞くことができます  ★音声を聞きながら取り組む課題です。   1. 教科書P8～P9の町の絵を見てください。ALTの先生が言うものを指さしましょう。１回目は、①～⑩までを順番に言います。２回目は、順番が変わります。 2. 教科書P8～P9の町の絵を見て、先生の後に続いて①～⑩の英語を言いましょう。 3. 教科書P10～P11のブリックさんのお店を見て、先生が言うものを指さしましょう。   １回目は、１～20までを順番に言います。  ２回目は、順番が変わります。   1. 教科書P10～P11の身の回りにあるものの絵を見て、１～20までの英語を、ALTの先生の後に続いて言いましょう。 2. 教科書P11の下段にある、「小学校で使った色と数」について、ALTの先生の後に続いて言いましょう。   ★音声がなくても取り組むことができる課題です。  ① 町(P8～9)にある「場所」や「建物」のに書かれている文字を読んでみましょう。  ② ブリックさんのお店(P10～11)にあるものの中で、「あなたがほしいなと思うもの」はあるかな？を２つ選んで英語で言ってみましょう。  （ヒント）小学校で学習した表現を思い出しながらいってみましょう。  I want a cap and a book.  ③ 小学校で使った色と数を思い出して、あなたの家にあるもの「色」や「数」を言っ  てみましょう。何がいくつあるかな？  （ヒント）小学校で学習した表現を思い出しながら言ってみましょう。  I have a blue bag. |

※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。